

第 51 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 7 月 30 日（金）午後 5 時 45 分から午後 6 時 03 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、鈴木副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局地域連携・振興部長、南丹広域振興局副局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局副局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ 京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・ 本日は、政府対策本部の決定を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしています。
- ・ それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・ まずはこの間、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に、心から感謝を申し上げます。
- ・ また、府民、事業者の皆様には、4 月以降、非常に長期間にわたって、往來の自粛や飲食店等における営業時間短縮等によって、大きな御負担をおかけしています。多大な御協力に対しても、深く感謝を申し上げます。
- ・ 皆様の御努力によって、感染は一旦減少局面に入っていましたが、徐々に増加をし、今週からはかなり急拡大しています。
- ・ 本日の京都府の新規感染者数は 167 人、7 日間の移動平均が 113 人で、前週比が 2.11 倍と、急拡大を示しています。そして、これは全国でも同様の状況で、昨日は 1 万人を超えています。
- ・ 先ほど開催された国の対策本部において、首都圏の埼玉県、千葉県、神奈川県、そして大阪府が緊急事態措置を実施すべき区域、そして北海道、石川県、京都府、兵庫県、福岡県の 5 つがまん延防止等重点措置を実施すべき区域に決定されました。
- ・ 本日は、先ほど開催した専門家会議の御意見等も踏まえ、今後の対応について御議論をしていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。
- ・ まずは、最近の感染状況等について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・ 続きまして、京都府まん延防止等重点措置等について、危機管理監から、事務局案の御説明をよろしくお願いします。

【危機管理監】

※資料 2 に基づき説明

【知 事】

- ・ 続きまして、医療提供体制の拡充について、健康福祉部長から御説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 3 に基づき説明

【知 事】

- ・ ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしくお願いします。

【専門家会議議長】

- ・ 感染が急激に拡大しているということで、緊急事態にも相当する強い措置が必要であると考えています。
- ・ 特に、10 代、20 代の若者の間での感染拡大が目立ちますが、これは人の流れや活動が活発になっている結果です。
- ・ これまでも、感染が拡大するたびに、減少に転じさせることができましたが、それはひとえに府民の皆様の御協力の賜物です。
- ・ できる限り、人との接触を控えていただき、会話の時の正しいマスクの着用、手の消毒を心がけていただきました。ありがとうございます。
- ・ 今回はこれまでと少し違うところがあります。ワクチンの効果が、重症化予防に大変効果があるということが分かってきました。
- ・ さらに、治療薬、中和抗体薬も登場して、状態はよくなっていくと考えています。
- ・ 長く続いたコロナ禍を乗り切るために、感染者数を今時点でできるだけ減らすことが重要であると考えています。
- ・ 繰り返しになりますが、うつらないための行動、うつさないための行動をお一人お一人が心がけていただきますように、お願いを申し上げます。以上です。

【知 事】

- ・ 様々な条件が整ってきているところもありますが、それも効果を出すためには、基本的な感染対策が必要だと思っています。
- ・ 感染力が強いと言われているデルタ株も、感染予防策については、従来と同じことをいかに正確に行うか、であると国も言っていますので、ぜひとも御協力をいただいて、なんとか感染拡大防

止に努めてまいりたいと思っています。

- ・ 次に、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしくお願いします。

【京都市危機管理監】

- ・ 京都市内ですが、一昨日に市内で過去最高 130 人を記録し、昨日も 111 人、今日は 113 人ということで、100 人台が 3 日続いており、この数字が京都府全体の数字を押し上げているような状況です。非常に危機感を持っています。
- ・ デルタ株の影響や、4 連休によって、発生届や、受診が集中している可能性もあるので、引き続き慎重に分析をしていきたいと思いますが、いずれにしても、クラスターも多数発生をし、市中感染は間違いなく増加していると思います。
- ・ お盆もこれから控えている中で、市民の皆様に変更して危機感を共有していただけるような、強いメッセージを市としても発信していきたいと思っています。
- ・ また、飲食事業者の皆様には、今回酒類を提供しないということで、従来のまん延防止措置に比べて、大変厳しいものをお願いしていくことになります。非常に緊急性が高い状況、取組であるということを御理解いただけるよう、府とも連携を図って取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

【知 事】

- ・ まん延防止等重点措置区域ということで、京都市域は、特に御負担をおかけしますが、今回の場合、特に、酒類の提供の禁止という非常に厳しい措置を合わせて実施していただくということで、引き続きよろしくお願いします。
- ・ 従来からの営業時間短縮要請の休止状況等の見回りについても、府市協調して、効果があるものにしてまいりたいと思っていますので、よろしくお願いします。
- ・ その他に、何か御意見等がなければ、この事務局案によって、京都府まん延防止等重点措置を 8 月 31 日まで実施することとしたいと思っていますので、よろしくお願いします。
- ・ その他に、各部局から御報告事項がなければ、本日の会議の総括を申し上げたいと思います。
- ・ 現在、府内の新規感染者数は、若い年齢層を中心に急激に増加しています。しかも、まだ夏休み期間中であり、これからお盆の時期を迎えるということで、人の移動、また会食の機会の増加も予想されています。
- ・ 併せて、感染力の強いデルタ株への置き換わりが進んでいます。先ほど 26%とありましたが、もしかすると、足元はもっと高い割合で置き換わりが進んでいる可能性もありますし、また、首都圏での感染拡大がこれまでから全国に波及するという流れもありました。
- ・ 様々な懸念材料があります。十分な危機感を持った警戒が必要だと考えていますので、これから申し上げる 2 点について、万全の体制で対応をお願いしたいと思っています。
- ・ 1 点目は、ただいま決定したまん延防止等重点措置等については、特に飲食店に対して、非常に長い間様々な御負担をおかけしながら、今回また一段と厳しい措置をお願いすることになります。ただ、これは確実に実施していただかなければいけないわけですので、府民、事業者の皆様、市町村、関係団体等に対して、できる限り丁寧に御説明し、広報し、要請していただくようお願い

したいと思っています。

- ・ 2点目は、感染が拡大し、予断を許さない状況です。今は、若い年齢層と言っていますし、ワクチンの効果は推測されますが、段々40代、50代の感染者数も絶対数としては増えてきていますので、今後、どういう風に病床の逼迫に影響するかということについて、よく警戒し、医療提供体制の拡充を確実に実施していただくとともに、さらにどういうことができるのかということについても、引き続き、並行して検討していただくようお願いしたいと思っています。
- ・ 以上2点について、よろしくお願いします。
- ・ いずれにしても、これだけ全国で感染が拡大しているということは、全体的に収まっていかないとなかなか収束に向かわない可能性もありますので、引き続き、感染拡大防止に取り組んでいただくようお願いしたいと思います。以上です。

【危機管理監】

- ・ 関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。
- ・ 松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ 以上をもって、対策本部会議を終了します。